

ICTによる地方創生の事例(宮城県石巻市)

東日本大震災からの教訓を電子的に記録し伝承
(GIS、AR技術を利用した「防災まちあるき」)

地方創生に資する
「地域情報化大賞」
特別賞受賞

宮城県石巻市の官民連携組織が中心となつて、被災地の「現在・過去・未来」を伝える「石巻津波伝承AR」アプリを開発・無償公開

同アプリを活用して、公益社団法人みらいサポート石巻が被災地域をガイドする「防災まちあるき」を実施

多数の者に震災の追体験と復興の未来予想を行う機会を提供



石巻伝承ARアプリ



タブレット端末・アプリを活用した東北初のまちあるきプログラム展開



東日本大震災からの教訓の伝承と防災教育に貢献

- アプリ公開時からのダウンロード数 **4,800以上** (平成27年12月現在)
- 「防災まちあるき」体験者 **2,008名(174回)** (平成26年3月～平成27年12月実績)
- 宮城県内での被災地状況紹介アプリや東北6県ガイドアプリ開発へ参画